

石田 しんご 議員 (無所属)



題への解決に機動的に取り組む必要があり、具体的な課題については積極的、前向きに解決に取り組む。

施政方針について

民間企業と同様に区においてもミッション・ビジョン・バリューの策定が必要だと思いが、見解を。令和6年4月に策定する人材育成・確保基本方針の中で、区が目指す方向性や職員の行動指針などを明文化する予定。

人への投資こそが「不」を取り除き、未来に希望が持てる社会をつくり、区民のウェルビーイングにつながると思うが、所見を。

現場で働く方の処遇改善など区民の思いに寄り添い、ウェルビーイングの視点で施策展開していく。羽田新飛行ルートや公契約・中小企業振興・カスハラ各条例制定などの課題解決に向けての区の姿勢について。

新しい価値の創出や複雑化する課

防災対策について
いつ起こるか分からない災害だからこそ日頃から対策・連携を図るため災害対策本部の常設を提案。本部訓練等を通じて全庁態勢で様々な災害対策に取組んでおり、本部の調整機能・庶務的機能は防災課が担うため現体制で問題ない。

新庁舎について
庁舎跡地を含めた大井町駅周辺の一体的なまちづくりビジョンの改めでの策定を提案。

緊急一時避難施設は区内99か所あり、今後も追加指定に努め、設置助成は他自治体を注視。

機運の高まりに合わせ、地域の意見を聞き跡地活用も含め適宜方針の更新を予定している。

新庁舎建設において区長の思いはどのように反映されているのか。障がい者カフェ設置やワンストップサービス導入による利便性の向上、親しまれる庁舎整備に取組む。

ICT化と情報格差
令和6年度の予算で、新たにオンラインデマンド交通等の実証実験が発表された。今後の展開は。

実証実験や技術革新の動向等を見据えながら検討をしていく。

①スマホ教室の拡充を②スマホを持たない方に対するアプローチは。③既存の講座を1か所増やす等を実施する予定だ④スマホ教室でスマホの無償レンタルを行ってきた。

地域産業の振興
①物価高騰対策、価格転嫁のサポートを②賃上げを進めるため、経営全体の評価とアドバイス。

①経営相談、資金繰り支援等を実施している②個別の事業計画等を踏まえてアドバイス等を実施する。

妊娠、出産の支援
妊娠期、出産後の女性の①キャリア支援を②創業支援の実施を。

①個別相談やセミナーを定期的に実施している②武蔵小山創業支援センターの専門スタッフが女性に特化した創業支援を実施している。子どもから少しだけ目を離して、夢に挑戦できる施設の新設を。ニーズ、手法などを研究する。

点について整理をして、様々な場面で周知啓発を行っていく。

令和6年度の予算で、新たにオンラインデマンド交通等の実証実験が発表された。今後の展開は。

実証実験や技術革新の動向等を見据えながら検討をしていく。

①スマホ教室の拡充を②スマホを持たない方に対するアプローチは。③既存の講座を1か所増やす等を実施する予定だ④スマホ教室でスマホの無償レンタルを行ってきた。

ひがし ゆき 議員 (未来)



医療的ケア児に対する支援

医療的ケア児等コーディネーターのさらなる体制の整備を求める。在宅移行や福祉サービス利用等の調整を行い、体制整備を進める。

保育園で働く方々の労働環境も保証されるよう、受入れの体制の整備が必要。私立園が受け入れに踏み出すために厚い支援策を求めるが、区の見解は。

区立保育園で培ったノウハウやガイドラインなどを積極的に提供し、支援をしていく。

「医療的ケア児サポートブック」等の作成について、区の見解は。医療的ケア児等コーディネーターや支援関係機関連絡会等でご意見を伺いながら検討する。

包括的教育
性に関する教育は教員全体で共通

理解を図る必要があるが、見解は。教員研修などで、より多くの教員の理解を深められるよう努める。

外部講師を活用した心と体の教育も区として推進することを求める。学校保健会や学校医との連携を図り、各学校の取組を支援していく。

ジェンダー平等と性の多様性
「みんなのひろば」の拡充や、専門の相談員を配置した「にじいろ相談窓口」の設置を要望。

来年度は「みんなのひろば」の実施回数を年4回に拡大。「にじいろ相談」を来年度より開始する。

パートナースhip宣誓書帯において、子どもを家族認定するファミリーシップ制度の制定を求める。引き続き都の動向も注視していく。

子どもDX推進
産後ケア事業は電話や郵送での予約が必要であり、利用者目線での改善を要望。

宿泊型については電子申請の導入準備を行っている。日帰り型・訪問型については受託者と今後協議。子どもDX推進に対する考えと今後の展開は。

国や都とも連携しつつ、子育て家庭の負担を軽減する観点からデジタル技術を積極的に活用していく。

やなぎざわ 聡 議員 (無所属)



介護従事者が安心・安定して働ける環境づくりがすべての人のウェルビーイングを向上させる

介護職は低賃金重労働で慢性的な人手不足。ヘルパーからは報酬引き下げで怒りの声上がり、ケアマネは業務負担が増している。処遇改善は進んでいるが全産業平均の賃金にはまだまだ及ばない。

介護職と事業者にセットで支援を。今後も介護人材の処遇改善のため区独自の手当を創設する等、支援を図っていく。区内介護事業者と意見交換を行いながら必要な支援について検討を行う。

家計のひっ迫はウェルビーイングの大敵。今こそ区の貯金(基金)の積極活用を!

物価高・税金も上がり我々の使えるお金はどんどん目減りしている。

96億円もある区の貯金を使い給付金で全世帯に支援しては?

区民の生活状況等を把握しながら各支援策を推進していく。

区民の約半数のウェルビーイングを書いている羽田新飛行ルートを区民アンケートで区民の半数に悪影響が出ていると民意が示された。私が生まれ育ち今も住む東大井も地元の方から怒りの声を頂く。国にはつきりと反対と言っているのか?

区民負担軽減の取組を提示し実施することを、大臣に求めた。

インボイス制度とウェルビーイング
小規模事業者やフリーランスなど多くの区民に影響がある。区長は賛成か反対か?

国において議論されるべきもの。(その他の質問)
・子どものウェルビーイングを守れSTOP!大人による子どもへの人権侵犯

一般質問

せりざわ裕次郎 議員 (自民)



防災

オフィス防災について①事業所内の防災対策の把握を②事業者向け防災ハンドブックの改訂を③オフィス防災への新たな支援の見解を。

①区内事業者から意見をお聞きする等で傾向の把握に努めている②改訂を含め検討する③オフィス防災は事業者の責務であると考え、ペット同行避難について①現状の公開を②飼い主への準備の啓発を。

①順次ホームページで公開していく②チラシを作成している。

家庭の防災備蓄について①備蓄の現状は②防災備蓄セットにないが必要なものは各家庭が備蓄を求めているように、強い啓発を求める。

①世論調査では、防災用品を備蓄している方は61.4%にとどまる。②備蓄の必要性や備蓄する際の留意

一般質問

ICT化と情報格差

令和6年度の予算で、新たにオンラインデマンド交通等の実証実験が発表された。今後の展開は。

実証実験や技術革新の動向等を見据えながら検討をしていく。

①スマホ教室の拡充を②スマホを持たない方に対するアプローチは。③既存の講座を1か所増やす等を実施する予定だ④スマホ教室でスマホの無償レンタルを行ってきた。

地域産業の振興
①物価高騰対策、価格転嫁のサポートを②賃上げを進めるため、経営全体の評価とアドバイス。

①経営相談、資金繰り支援等を実施している②個別の事業計画等を踏まえてアドバイス等を実施する。

妊娠、出産の支援
妊娠期、出産後の女性の①キャリア支援を②創業支援の実施を。

①個別相談やセミナーを定期的に実施している②武蔵小山創業支援センターの専門スタッフが女性に特化した創業支援を実施している。子どもから少しだけ目を離して、夢に挑戦できる施設の新設を。ニーズ、手法などを研究する。